

大阪市議選、全力で闘いました！

安倍・維新の改憲、生活破壊と対決し、 地方選後半戦、衆院補選勝利へ！

◆大きく前進した市議会選挙◆

山川よしやすは、4月7日に投開票された大阪市議会選挙に城東区から立候補して闘いました。当選は果たせませんでした。多くのみな様に支えられ4年前の約3倍となる**4.481票**を得ることができました。“カジノではなく福祉の充実を。市民のために税金を使う改革を。都構想・民営化反対。維新ではない選択を！”と真正面から訴えました。大阪維新の会による府知事、市長のダブル選挙という逆風の中でも、多くのみな様に支持されたことに確信を持ち、これからも邁進してまいります。

「介護保険料が高すぎて払えない」「保育所は狭いマンションの片隅。別々の保育所に2人の子どもを預けている」「カジノはいらない」「維新はいやだ。無投票にならず良かった。よく出馬を決意してくれた。頑張ってる」など、選挙期間中にみな様からたくさんのお声掛けをいただきました。

私たち「平和と民主主義をともにつくる会・大阪」はこの4年間、政党だけに政治を任せるのではなく、維新のように「都構想・カジノ・IRに賛成か反対か選べ」と上からの政策を押し付けて選択を迫るものではない、主権者である私たち一人ひとりの市民が作りだしていく市政改革をめざしてきました。

一人ひとりが自分たちの言葉で語り、声を上げれば、地域を民主的に変革していくことは可能であるという確かな手ごたえをつかむことができました。ここに確信を持ち大阪市議会での当選を勝ち取るため、さらに運動を強めてまいります。

◆維新の政策が支持されたわけではない◆

維新が知事、市長を当選させ府議会では過半数を、市議会でも多数を獲得しました。しかしこれは維新の政策が支持された結果ではありません。維新は選挙戦のなかでカジノを主張せず、「成長を止めるな」というだけでした。維新が「勝利」したのは自公が本質的に維新と同じでありその分、現職が有利となったのです。自民は、カジノ賛成、水道など民営化推進に賛成でした。維新と自民の差はその利権をどちらがとるかの争いでしかなく、自民支持層の半分が維新に投票する結果となりました。

維新は、教育・子育て関連予算を削減しているにも関わらず、その一部をとって増額しているかのような詐術で、「成長」を進めるためには若い子育て層への支援が必要と大きく打ち出しました。しかし、実際の現場では子ども、若い親、そして保育士・教師が切り捨てられているのが事実です。これから市民の運動でその現実をもっと目に見える形にして声を上げていかなければなりません。

選挙結果を受け、公明は、住民投票に賛成する可能性が強まります。都構想によりカジノなど大規模開発は加速され、この10年間の維新府政・市政で切り捨てられた高齢者、若者、子育て世代、子どもたちの福祉とサービスがさらに切り捨てられていきます。これを許さず、都構想・カジノを断念させる闘いをみな様とともにさらに広げていきます。

◆市民の運動で対抗軸と展望を創りだそう◆

2019 地方選前半戦は、北海道知事選でも野党統一候補が敗北し、全国の道府県、政令都市で議席数・得票率とも自民党がわずかに増加しました。安倍政権のでたらめさへの怒りは市民に根強く存在しています。しかし“史上最低の投票率”に示されるように安倍批判が投票にはつながっていません。アベノミクスの失敗、統計詐欺を暴き、辺野古新基地阻止を広く強く訴えていくことで、安倍政権とそれに連なる勢力を敗北させることは可能です。

安倍・維新の改憲、新自由主義路線と対決し、民主主義に貫かれた社会を創りだすために一緒に闘いましょう。野党共闘の衆院大阪12区、沖縄3区の補選に勝利し、参院選勝利の展望を切り開きましょう。

寒暖を繰り返しつつ春を迎えました。みな様、お変わりございませんか。城東区内のあちこちでお花見を楽しむみな様のお姿を力に選挙戦を闘い抜きました。



山川

よしやす通信

4月号

《 2019.4.12 発行 》

【 4月10日 山川よしやす 】